

**競技ディベートを通じて
考え伝えるスキルを磨く**
永江 雅和 教授

私のゼミでは大学対抗の競技ディベートへの参加を活動の中心にしています。競技ディベートとは特定のテーマに対して肯定・否定の立場に分かれて行う討論形式の競技です。時事的な経済問題が取り上げられるため、競技を通じて問題への理解を深めることができます。議論の内容はもちろん、プレゼンテーションや作成資料の出来栄、チームワークやマナーまで採点対象となっているため、社会に出て活動するうえで必要になるスキルを学生のうちに磨くことができます。

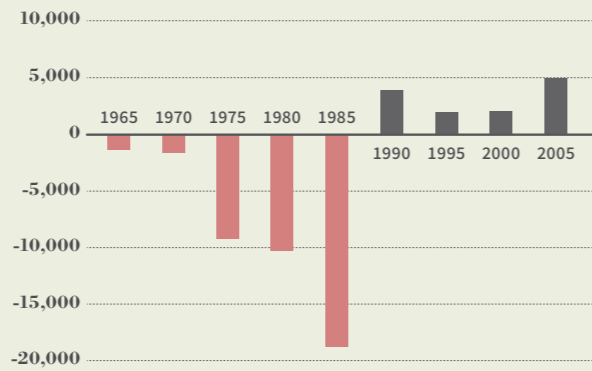
**日本の経済を
ディベートで深掘りする**
3年 田部 志織

永江ゼミでは歴史的視点や方法を重視しつつ、現代の経済問題を理解し議論する力の習得を目指しています。大学対抗の競技ディベート「渋沢杯」への参加を通じて、問題に対する思考力やその意図を伝える力が身につきます。今年のテーマは『国鉄分割民営化は日本経済にとってプラスであったか』です。日本の財政状況や税金の在り方、労使関係というあらゆる方面について考える機会になりました。

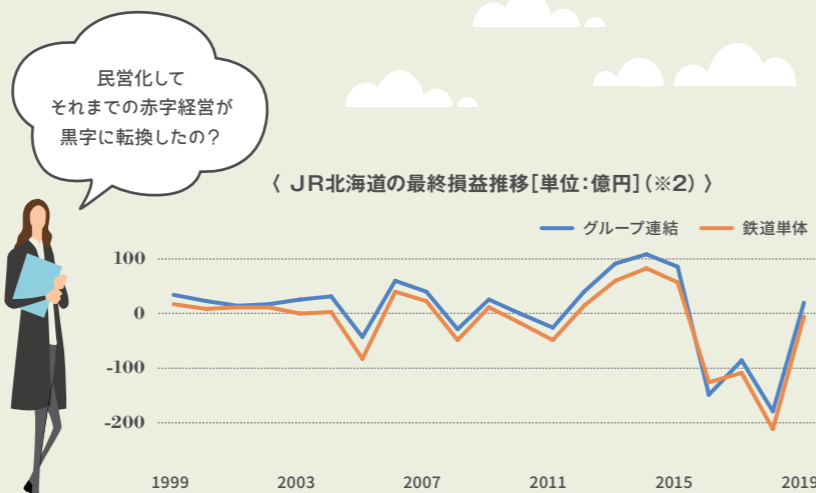
論理的思考と
ディベート力を
鍛えましょう



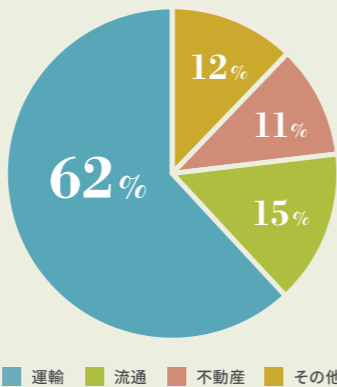
〈国鉄・JRの経常収支推移[単位:億円](※1)〉



一見黒字化したように見えるJRの民営化は成功だったのか、失敗だったのか。扱うテーマが同じでも、視点を変えれば様々な見方ができる。そのことを理解した上で、肯定派、否定派に別れてディベートを行うのがゼミの特徴です。



〈JR西日本事業別業績構成(※3)〉

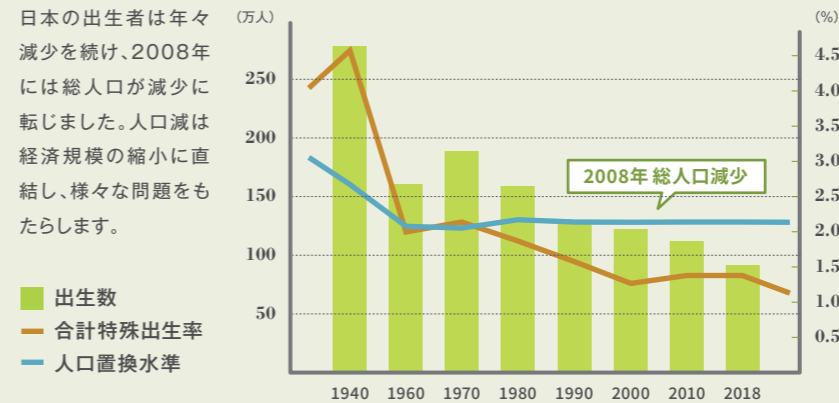


図のようにJR西日本は収益の多角化に成功したことにより経営が安定化、一方、JR北海道は不採算路線を押し付けられた形で赤字に転落。このように一口にJRの民営化の功罪を語るにも、データの見方ひとつでいろいろな答えが導き出せます。

民営化よりも
分割の方式が
悪かったのかな？



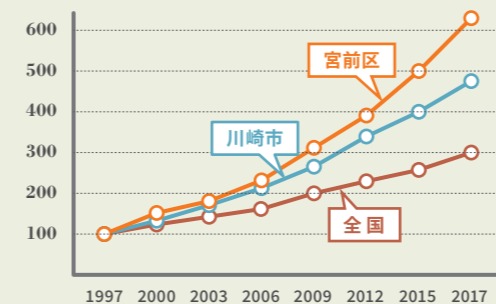
〈出生数・合計特殊出生率・人口置換水準の推移(※4)〉



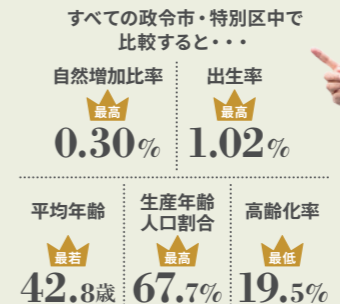
地域経済と
人口には深い
関係がある

川崎市の人口パフォーマンスは政令市・特別区なかでは良好ですが、高齢者の高齢化が市で全国平均の1.5倍、宮前区では2倍以上に進んでいます。

〈川崎市・宮前区における85歳以上人口の推移(※5)〉



〈川崎市の人口指標(2015年度)(※6)〉



**地域経済の現状を知り、
地域再生の手立てを探る**
宮崎 晃臣 教授

当ゼミでは「我が国地域経済の現状と地域再生」をテーマとしています。学生は川崎市を対象に現状分析の方法を習得し、その成果をオープンキャンパスで発表しました。この学習成果をもとに各自で関心のある地域の分析を行い、六次産業化、観光振興等の活性化事業の評価に加え、ゼミナール研究論文にまとめます。昨年度は「コロナ禍がもたらす地域経済への影響とGoToトラベル事業の是非」をテーマに、オンラインでのグループワークも実施しました。

**地域の現状を分析し
活性化の方策を考える**
3年 山田 健太郎

各々が関心のある地域を選択し、地域が抱える問題点とその解決策を考えています。統計を用いた分析から地域の強み・弱みを導くその過程で、データの処理能力や論理的思考力を身につけることができました。研究を通して出身地の現状を客観的に見ることで、見落としていた新たな魅力の発見につながります。他のゼミに比べ個人の裁量が大きく、興味ある分野の研究活動に専念できることも特徴の1つです。

経済学から
地域再生の
最適解を導こう



※1: 出典 / 「国鉄改革について」9回・8国鉄及びJR7社における経常収支の変化より作成 <https://www.mlit.go.jp/tetudo/kaikaku/01.pdf>
 ※2: 出典 / 毎日新聞 2019年5月31日 朝刊
 ※3: 出典 / JR西日本【JR西日本トップページ→企業・IR・採用・法人向け情報→株主・投資家情報(IR)→財務・業績情報→事業別業績(連結)→営業収益 2020年3月期】より作成 <https://www.westjr.co.jp/company/ir/finance/results/>

※4: 出典 / 国立社会保障人口問題研究所 人口統計資料集2020年、厚労省2019年人口動態統計年報より作成
 ※5: 出典 / 川崎市年齢別人口、総務省統計局人口推計より作成
 ※6: 出典 / 川崎市経済労働局産業政策課企画課編『川崎の産業2018』53頁より作成